

千葉県を含む南関東地域ではマグニチュード7クラスの地震が30年以内に70%の確率で起こると言われています。東海地震，東南海地震，南海地震も近いうちに起こるだろうと言われています。

一人一人が防災のことを意識し，準備をすることで，社会（地域）の防災力が高まり，災害があっても被害を少なくすることができます。（減災）

家の中や周辺の安全点検，非常用持出袋などの用意，避難所や避難経路の確認などは，今すぐできることです。また，学校や地域と協力して，地域コミュニティをつくることも大切です。

2007（平成19）年10月，地震による強い揺れを事前に知らせる緊急地震速報が始まりました。揺れが来るまでのほんのわずかな時間を有効に活用して，被害を最小限にできるよう，日ごろから準備しておきましょう。

正常化の偏見

人には，自分にとって不利なことや都合の悪い情報を無視したり，過小評価したりしてしまう傾向があります。このことを正常化の偏見と言います。災害発生前に，人はこの心理状態に陥りやすいのです。自分の住む地域には大地震が起こらない，起こっても大した被害はないという気持ちが，あなたの中にありませんか。



心肺蘇生法の講習を受ける高校生

新潟県を襲った地震 過去の災害の教訓は生かされたか

新潟県中越^{ちゅうえつ}地方は2004（平成16）年10月と2007（平成19）年7月に，大きな地震に襲われました。これらの地震発生後の対応は比較的しっかり行われたと言われています。

ふだんから培われた住民同士のつながり，信頼関係はもとより，阪神・淡路大震災の様々な教訓が生かされた結果だと考えられます。

わたしたちは過去の災害から多くを学ぶことができます。災害に備えてどのような取り組みをしておけばよいか，災害に遭遇したらどうしたらよいかを考え，そして何よりも，いざという時，生かせるようにしておく必要があります。